

データヘルス計画の評価における4つの指標～課題を解決するための目標に向けて～

令和2年度は、平成29年度に策定しました【データヘルス計画(計画期間:平成30年度～令和5年度)】の中間評価をしました。

「中間評価」及び「計画の見直し」について、左側の4つの視点(ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム)で分析しました。

データヘルス計画に位置づけた評価指標		中間評価 ※	計画の見直し
<b>ストラクチャー</b> (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか。(予算等も含む)</li> <li>保健指導実施のための専門職の配置</li> <li>KDB活用環境の確保</li> <li>関係者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業予算及び運営については、国保担当者と衛生部門の保健師とで管理している。</li> <li>保健指導実施のため、会計年度任用職員の管理栄養士を配置。必要時に在宅保健師へ協力依頼している。</li> <li>KDBシステムは衛生部門に1台設置。一体的取組に向けR2年度に地域包括支援センターへ1台設置。</li> <li>肝属東部医師会及び町内医療機関へ連携依頼及び取組報告実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症に係る事業との調整が必要。</li> <li>R3年度からの「保健事業と介護予防の一体的取組」に向け、係内体制を見直す必要があるが、人員不足の課題が残る。</li> </ul>
<b>プロセス</b> (保健事業の実施過程)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導等の手順・教材はそろっているか。</li> <li>必要なデータは入手できているか。</li> <li>保健事業がスケジュールどおり行われているか。</li> <li>データに基づいて現状分析したか、現状分析を踏まえたうえで課題抽出・事業選択ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導は、国保連合会より保健事業支援ツールやKDB2次加工ツールの提供や支援を受け、保健事業をPDCAサイクルで実施。</li> <li>必要なデータはKDBシステム等から抽出。</li> <li>毎年度、個別保健事業計画を立て、事業の見直しや検討を行うことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により年間スケジュール通りには事業展開できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をしながら、特定健診・特定保健指導等の保健事業を計画・実施していく。</li> </ul>
<b>アウトプット</b> (保健事業の実施状況・実施量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率、特定保健指導率</li> <li>計画した保健事業を実施したか</li> <li>保健指導実施数、受診勧奨実施数など</li> <li>重症化予防事業の実施の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策のため健診結果報告会を中止し、結果郵送に切り替えると共に、健診結果相談会を事前予約制で実施。重症化予防対象者へは訪問指導を実施。</li> <li>特定健診受診率は目標60%に向け、徐々に上昇していたが、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、健診の延期や受診者の受診控え等もあり受診率36.4%へ減少。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、事業内容を工夫し実施する。</li> <li>重症化予防対象者のみ健診結果報告会(個別対応)を行うような対応を検討する。</li> </ul>
<b>アウトカム</b> (成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した目標に達することが出来たか(検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病率の変化、要介護率など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高血圧Ⅱ度以上の割合は減少し目標達成。</li> <li>入院外医療費を伸ばすことは出来たが、入院医療費の伸び率は抑えられていない。</li> <li>脳血管疾患や虚血性心疾患の総医療費に占める割合・糖尿病性腎症による透析導入の割合減少も達成できていない。</li> <li>脂質異常症(LDL180以上)やHbA1c6.5以上の割合は増加。</li> <li>要介護3以上の割合が多く、また2号認定率が上昇。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康課題は解決できていないものが多い。今後も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をしながら、保健事業の継続が必要。</li> </ul>

データヘルス計画最終年度の令和5年度に向けた、目標値の修正は行わず、目標達成に向けて今後も新型コロナウイルス感染対策をしながら取組を継続。